

人民大衆中心のチュチェ思想

朝鮮人民との友好連帯及び朝鮮統一支持アラブ評議会議長
マーワン・スダー

全世界の朝鮮の敵までも朝鮮人民の永遠な領袖である金日成主席（1912－1994）をもっとも秀でた偉人として認めています。

今日、世界の多くの通りと道路、機関、団体、名所に秀でた偉人の尊名を冠しているのは、たとえ自国の公民ではないが、金日成主席の逝去が自分たちの喪失になるということからくる尊敬と敬慕の明白な表しであり、金日成主席のたぐいない偉大さと卓越した人間性、すべての国の指導者と区別される点にたいする明白な確信となります。

朝鮮人民の永遠な領袖である金日成主席が積み上げたもっとも特出した業績は人民大衆中心のチュチェ思想を創始したことです。

われわれは朝鮮で金日成主席の愛国献身の努力を見せる各地の革命事跡地と単位を参観し、朝鮮人民が金日成主席を限りなく敬慕し、金日成主席の遺産を永遠な精神的財宝として受け入れていることを確信しました。金日成主席の遺産は北と南の朝鮮民族だけでなく、全人類のものとなりました。前世紀70年代に世界の多くの国では金日成主席の尊名を冠した図書館と著作研究グループ、著作研究委員会、チュチェ思想研究グループ、著作および革命活動歴史研究グループが相次いで組織されました。

金日成主席が創始したチュチェ思想を研究するために1969年4月、マリではじめて金日成同志著作研究グループが結成されたことを契機に、世界的範囲で主席の著作を研究し、幅広く普及し導入する活動がおこなわれました。

前世紀70年代に金日成主席の著作研究を専門とする団体が作られインド、パキスタン、日本、チリ、イエメン、スーダン、エクアドルなど世界の多くの国で「金日成著作集」と「金日成著作選集」など、多くの著作が出版されました。特に、各国の国家元首は高い国際的名声を博している金日成主席にたいする自分たちの最大の尊敬の念を表明しました。

1965年4月、インドネシア大統領は新しく育種した珍奇な花に主席の尊名を冠して金日成花と呼ぶようにし、1982年1月ギニア大統領は、平壤で食糧および農業増産に関する非同盟諸国と発展途上諸国の討論会をおこなうようにし、アフリカ諸国に農業科学研究所を設けることを提案した金日成主席にたいする尊

敬の念を込めて自国に新設した研究所を金日成農業科学研究所と命名するように指示しました。

2002年4月、シリアアラブ共和国では首都ダマスカスのある通りを金日成通りに命名し、2007年10月にはイギリスのグローバルグループ会長と世界諸国民の関心と努力によって国際金日成基金が創設されました。

われわれは金日成主席を高くいただき、金日成主席の闘争業績について回顧することが国際的かつ社会的・政治的および個人的義務であると思い、全世界の諸国と個別的人士は金日成主席の遺志と闘争業績、輝かしい思想を体し、毎年、金日成主席の生誕日を記念し逝去日を追慕しなければならないと思います。

実に、金日成主席は全人類の心の中に永生しています。

金日成主席の思想と業績は全人類のモデルとして残っています。